

## フィールドノートから : ハワイ・オアフ島

その他（別言語等） のタイトル	From a Field Note : O'ahu, Hawaii
著者	塩谷 亨
雑誌名	認知科学研究
巻	5
ページ	109-110
発行年	2007-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10258/241">http://hdl.handle.net/10258/241</a>

## フィールドノートから : ハワイ・オアフ島

その他（別言語等） のタイトル	From a Field Note : O'ahu, Hawaii
著者	塩谷 亨
雑誌名	認知科学研究
巻	5
ページ	109-110
発行年	2007-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10258/241">http://hdl.handle.net/10258/241</a>

## フィールドノートから：ハワイ・オアフ島

塩谷 亨

### From a Field Note: O'ahu, Hawai'i

Toru SHIONOYA

ハワイ語は19世紀末のハワイ王国転覆、その後のアメリカへの併合という流れの中で衰退し、ハワイ語の話者人口は減少した。しかしながら、現在はその再活性化のための運動が盛んであり、高校や大学など各地の教育機関でハワイ語の授業が開設されているほか、子供たちに英語ではなくハワイ語によって教育を行うクラ・カヤプニやプーナナレオと呼ばれる学校がハワイ各地に設けられている。ハワイには、そのようなハワイ語による教育を行う学校に加えて、もう一つ、ハワイ語に関連する知識と伝統を継承する貴重な場としてハーラウ・フラ（ハワイ伝統舞踊「フラ」の道場）がある。ハーラウ・フラはハワイ各地に多数存在し、そこでは、踊りや歌を中心に、口承で伝えられてきたハワイの言語文化を多くの生徒達が学んでいる。

平成18年12月19日から26日まで、米国ハワイ州オアフ島にて、このハーラウ・フラがハワイ語の再活性化にどのような役割を果たしうるかを考察するデータを得るため、現地聞き取り調査を行った。今回の調査は、文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C課題番号17520288「ハワイにおける先住民族言語再活性化運動の成果と今後の課題」（研究代表者：電気通信大学 松原好次教授）の研究分担者として行ったものである。

まず、最初に、クムフラ（フラ道場の師匠）でありハワイ大学でも教鞭をとっているピクトリア・ホールト・タカミネ先生に、ハーラウ・フラの側からの意見を聞いた。タカミネ先生はハワイでも非常に権威のある流れのクムフラであり、又、調査者自身がハワイ大学在学中に、数年間に渡りタカミネ先生のフラのクラスを履修したこともあり、今回ご協力をお願いした。いろいろと有益なご意見をいただいたが、中でも興味深かったのは、「ハーラウ・フラの修行の理想的な究極のゴールは言葉の達人を養成し、自らも作詞が出来る段階まで進むことである」との指摘であった。ハーラウ・フラでは、古くから伝わる数々の歌や踊りの理解を深め演じることを学ぶのは当然であるが、その更にも上のレベルとして、自らも作詞できるような知識の獲得を目指すということである。ハワイでは伝統的に言葉そのものにパワーが宿ると考えられている、そのため、十分な知識なく不適切な単語をうっかり使用して詩を作るとばちが当たると言われている。詩に用いようとする言葉の様々な意味・用法はもちろん、それに隠された裏の意味にまで習熟していないと作詞は難しいとされる。このように、言葉に関連する非常に高度な知識

の獲得を目指すハーラウ・フラという場合は、学校等で習ったハワイ語を更に磨き上げるのにふさわしい場を提供していると考えられる。

次に、ホノルルとは島の反対側にある町カーネオへのプーオハラ小学校内に設置されたハワイ語イマージョンスクール（ハワイ語による初等教育を行っている学校）であるクラ・カヤプニ・オ・プーオハラを訪問し、そのハワイ語教員のうち、自身もハーラウ・フラに所属しフラの修練を受けている5名の方々にご協力いただき、自分のハーラウ・フラでの経験も踏まえて、ハーラウ・フラに期待される役割についてインタビューを行った。調査協力者のうち3名はハワイ大学のハワイ語クラス以来の知り合いである。ハーラウ・フラで学ぶことと、学校で学ぶこととの関連など様々な項目についてインタビューを行ったが、中でも興味深かったのは、ハワイ語を学んだ或いは学んでいる生徒達がハーラウ・フラに入門した場合に、何を学ぶことを期待するか、という質問に対する答えであった。以下にその回答のうち興味深い点をあげる。

ハーラウ・フラで教授されるハワイの歌や踊りには、今日の実生活では見られないものも含めて様々なハワイの伝統文化が歌われている。ハーラウ・フラの修行は単なる踊りの訓練ではない。ハワイの歌や踊り歌や踊りを演じる際には、その歌詞の理解が不可欠である。古来から言い伝えられてきたそれぞれの歌詞にまつわる諸々の知識を師匠から生徒へと継承することはハーラウ・フラの重要な役割である。従って、ハーラウ・フラはハワイ語の歌詞に基づきながら、その背景にあるハワイの文化伝統歴史に関する知識を学ぶ貴重な場を提供しているとの指摘があった。また、踊りや歌はもちろんであるが、それに使うためのレイや衣装の製作、或いは、一部のハーラウ・フラがしばしば行う歌にゆかりの場所の現地視察など、ハーラウで行う諸々の作業を通して、本や教室で学んだハワイ語の意味するものを、実際に自分の体で感じ、或いは自分の体を動かしながら体感できる場であるという指摘もあった。学校等でハワイ語を学び、或いは学びながら、そのハワイ語の背景にあるハワイの伝統的文化を現代において、いろいろな形で実体験できる貴重な場の一つとして、ハーラウ・フラの果たす役割は大きいと言える。

さらに、必ずしもハワイ語の知識の強化だけに限ったことではないが、ハーラウ・フラという場合は、ハワイ人であることの誇りや aloha の精神などハワイの伝統文化に対する尊敬の念を育成できる場であるという指摘もあった。このこともハワイ語を盛り上げていく上で大きな役割を果たすものであると考えられる。

執筆者紹介

所属：室蘭工業大学共通講座

Email：shionoya@mmm.muroran-it.ac.jp